

# 日刊重力労千葉



国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 千葉 (22) 7207番



1989.3.3 / No.2988

## 清算事業団・営業への 強制配属・配転をのりこえ決起しよう

2/23 勝浦支部大会

- ①強制配転された者の原職復帰の見込みは? ②昇給・昇格試験について「増収活動を行なわないものについて不当な攻撃を行なう」としてはいる。③千葉駅において「増収活動を行なわないものについて不当な攻撃を行なう」としてはいる。④当局の「チェックマン」に対する抗議はどのようにするのか。⑤動乗勤改悪に対する組合の考え方は? ⑥勝浦運転区の将来展望は?

二月二三日、勝浦市民宿江沢において、第十一回勝浦支部定期大会が開催された。

大会は、吉野(鴨川駅)氏が議長に選出された。

支部を代表し、あいさつに立った鶴岡支部長は、「分割・民営化反対闘争の頃の勝浦支部をもう一度思い起し、団結を勝ち出された意見は以下のとおり

①強制配転へと追いやり受け、議事を終了した。前役員が、清算事業団、強制配転へと迫りやられて、全員で支部を支える決意である。



どうもご苦労様です。全国交流センターを佐藤さんと私で呼び掛けまして、本日を機して全国的にその闘いを開始します。

全国交流センターを発足するにあたり、反連合・反統一労組懇と一言で言うけれど、向こうは巨大な部隊を持つている割には、我々はまだこれからである。しかし、我々はこれまで闘ってきた立場から「反連合・反統一労組懇」という労働運動を日本の全産別・全地域・全国津々浦々まで作り上げていく。そういう壮大な立場を確認していこう。

いわゆる労戦統一問題は、「労組どちら」を結成した意義は極めて大きい。本日集まられた皆さんが必要になつて闘うなら情勢は確実に開かれるであります。個人・グループ・労組で構わな



中野委員長  
方針提起(要旨)

まさに世は波乱万丈の時代になるかと思います。労働運動そのものが吹き飛ばされかねない時代です。そうした時代のとぼ口にある八九年に「交流センター」を結成した意義は極めて大きい。本日集まられた皆さんが必要になつて闘うなら情勢は確実に開かれるであります。個人・グループ・労組で構わな

い。各地で学習を重ね、労働運動を語り、組織を作っていく。それと合わせて、財政も確立していく。すでに幾つかの労組・グループが本日加盟いたしました。この秋には一つの勢力として登場しようではありますか。



国鉄「分割・民営化」体制粉碎! 鉄道労連解体をかちとろう!

全国各地に交流センターを